

京都創生

KYOTO SOUSEI

第13号



日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。

日本の創生を目指して —文化庁の京都移転の実現を—

1 文化庁移転の提案

平成27年8月末、京都市、京都府、京都商工会議所の三者の共同により文化庁及び文化関係独立行政法人の京都移転に係る提案書を国に提出しました。

これは、我が国の社会全体が成熟化し、人口減少及び東京への一極集中が大きな課題となる中、地方がそれぞれの特徴を生かして魅力ある社会を築き、それを国の発展につなげる「地方創生」の取組の目玉として、今年3月、国が地方創生に資する政府関係機関の移転提案を募集したことを受けて提出したものです。



文化庁等移転推進に関する協議会（7月）

京都では、昭和の時代から国に対して繰返し要望している文化庁の京都への提案を実現する好機と見て、京都市、京都府、京都商工会議所に加え、文化芸術団体等により「文化庁等移転推進に関する協議会」を7月に立ち上げ、オール京都の体制で文化庁等の京都移転を推進しています。

2 地方創生を進めるうえでの京都の役割

経済だけが重視されるのではない成熟した社会をつくるためには、日本の歴史や伝統について、それらの価値や重要性を改めて認識し、海外に発信するなど、文化力の発現により日本を創生していくことが大切ではないでしょうか。

京都には、元離宮二条城をはじめ、14箇所の世界文化遺産や数多くの国宝、重要文化財その他の文化遺産があります。さらに、悠久の歴史の中で培われ、磨かれてきた、伝統文化の美意識や価値観、茶道・華道・香道・武道等の奥深い文化、そして、その背景にある宗教的情操や精神性、生き方の哲学、暮らしの美学、家族や地域の絆、先祖を敬い子孫・未来に思いを致す心、自然への深い感謝の念、繊細なおもてなしの精神などが、今なお日常の中に色濃く息づいています。

日本全国に数多くの伝統や文化が息づいていますが、グローバル化が進展し人口減少も進む社会において、その維持・継承が難しくなっています。こうした中でこそ、日本の精神文化の拠点、日本人の心のふるさとともいえるべき京都への文化庁移転により、京都が日本の「文化首都」として、京都が独

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

自に取り組む厳しい景観政策や認定制度等と伝統や文化を重視した全国各地の取組が連携し、文化を基軸とした国づくりを進め、日本文化の更なる発展をけん引していく役割が期待されています。

京都の魅力

- ◆ 国宝の約5割、重要文化財の約4割は関西に集積(件数ベース)

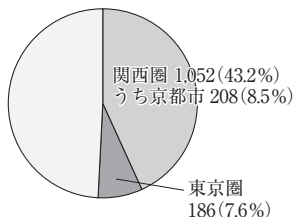
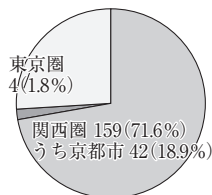
「醍醐寺文書聖教」は約7万点からなるが、国宝としては1件のカウント

質・量共に計り知れないほどの文化財が集積

建築物では

【国宝】

【重要文化財】



- ◆ 文化の懐の深さ・広さ

～古典芸能・伝統文化からマンガ・アニメ・現代アートまで～



- ◆ 伝統文化を支える伝統産業等が集積

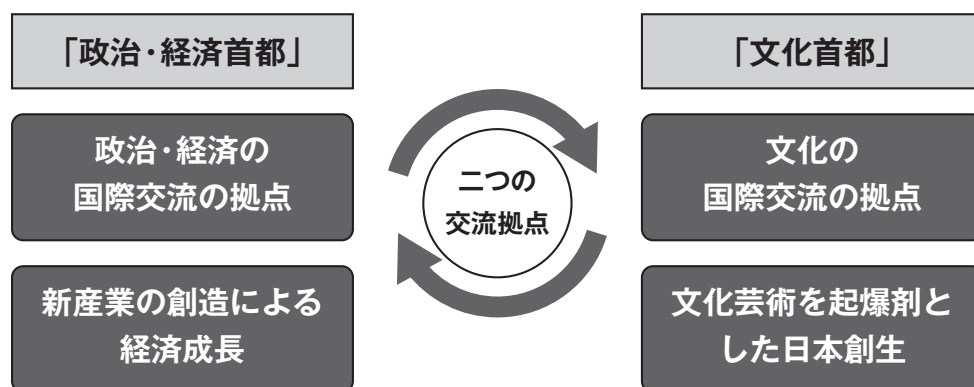
経済産業大臣指定伝統的工芸品指定数	17品目(全国で222品目)
京都市独自指定の伝統産業	74品目
伝統工芸士認定登録数(H27. 2 現在)	1,056人(全国で4,241人)

3 文化庁の京都移転の効果と狙い

「文化首都」としての役割を期待される京都に日本の文化行政の中心である文化庁を置くことで、国内外への文化の発信力は飛躍的に強化されるとともに、東京の「政治・経済」とは異なる「文化」を基軸とした交流拠点が構築され、日本文化の更なる発展と地域創生の進展に貢献できます。

さらに、文化庁の京都への移転は、政府関係機関の地方移転のモデルケースを提示し、地方創生の流れを国全体に波及させる一歩ともなります。

文化庁等の京都移転により「政治・経済」と「文化」の双眼構造を構築



4 皆様の御支援・御協力をお願いします

中央省庁の移転は、これまでから議論されてきましたが、実現することのなかった取組です。その分、移転のハードルは大変高いものと言えますが、文化庁の京都移転は、全国における政府関係機関移転の突破口を開き、ひいては全国における地方創生・日本の創生につながるものです。日本の未来を見据えたこの取組の実現には、何より、京都はもとより、全国の皆様の支援が必要です。御理解・御協力をよろしくお願いします。

シンポジウム 京都創生推進フォーラム

当フォーラムと京都市では、京都創生の実現に向けた市民の皆さんによる自主的な活動を推進するために、シンポジウムを開催しています。

今年は、オープニングで茂山茂さん、島田洋海さんによる狂言「鬼瓦」を披露いただいた後、青柳正規文化庁長官による基調講演に続き、「世界の文化首都・京都の役割」をテーマにパネルディスカッションを行いました。



狂言「鬼瓦」

日時 平成27年8月7日(金)

会場 国立京都国際会館

基調講演「文化を基軸とした地方創生への展望」 青柳 正規 氏(文化庁長官)

青柳正規文化庁長官による基調講演では、最初に「人口減少が進む日本で、国民が生活の質を下げずに生き生きと暮らすためには、各地域の活性化が大きな課題」と問題提起をいただきました。そして、文化を基軸にした地域活性化のポイントについて、造船業の衰退から文化のまちとして見事に復興を遂げたフランスのナント市や、21世紀美術館の設立により地域一帯の振興につながった金沢市など、国内外の成功事例を交えてお話いただきました。

最後に、「文化を資源にした地域活性化は今後より一層重要性を増すが、古いものだけに頼ってはいずれ限界が来てしまう。京都も名刹や神社仏閣だけではなく、様々な演劇、文学、宗教、色々なものの複合体としての魅力を世界に発信することが大切」としたうえで、そのためには「そこに生きる方々の自信と誇りや伝統をベースに新しいものを生み出す活力が何よりも大切」と講演を締めくくっていただきました。

パネルディスカッション「世界の文化首都・京都の役割」

パネルディスカッションでは、歴史と伝統を受け継ぎながら、国内外の世界の多くの人々を魅了する京都が、を魅了する京都が、「世界の文化首都」として輝き続けるために、私たちができることを考えました。



漫画は誰もが気軽に読めて理解でき、読者に深層を伝えることができます。伝統を受け継ぐ方々のお話を漫画によって表現し、文化の奥深さを伝える可能性を探っていきたいと考えています。

竹宮恵子氏(京都精華大学学長／漫画家)



明治の初め、京都の町衆は自らの力で64もの番組小学校を整備しました。新しい時代に次々と挑戦をしたこの心意気は世界的にも特筆すべきもので、今の京都の人々にも持ち続けていただきたいです。

青柳正規氏(文化庁長官)



京都には多くの寺社仏閣や庭園等がありますが、そのポテンシャルに比べ、観光客は少ないと考えます。訪れる人が素晴らしい体験ができるよう、観光資源をきちんと整備し、魅力を紹介することが必要です。

デービッド・アトキンソン氏
(㈱小西美術工藝社代表取締役社長／京都国際観光大使)



今、京都の文化の力が落ちているように思います。展覧会やテレビから伝わる表層の部分だけではなく、文化をもっと掘り下げ、長い時間をかけて自分の全てを与える「母性」のような文化の深さを知ることが必要でしょう。

樂吉左衛門氏(陶芸家／樂家15代)



京都が失ってはいけない本物の文化や本質を守り、未来に受け継ぐための取組をうまくつなぎ、結集していくことが大切です。長い歴史の中で常に文化力で京都は再生してきたのです。

宗田好史氏(京都府立大学生命環境学部教授)

本誌面のシンポジウムの模様は、下記ホームページで視聴いただけます。

(アドレス：<https://www.youtube.com/watch?v=RmkcHwszsSc>)

(写真提供：京都新聞社)

イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

京都創生推進フォーラムのホームページでも、当会員が実施する催しを紹介しています。

(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

事業名	概要	開催期間	会場(住所)	料金	申込	主催者等
(株)川勝總本家	「漬もの教室」糠漬の作り方、おいしさの秘訣体験。	11/2(月)～ 平成28年2/29(月) (日・祝、11/16～1/6を除く) ①10:00～11:30 ②14:00～15:30	川勝總本家 (京都市下京区大宮通五条上る上五条町394)	2,160円 (税込)	要	(株)川勝總本家 (075-841-0131)
祝人日節会 歌会・茶会・書華展	新年新春を祝い人々の安寧と美しい古都の伝統美書歌を展覧創作す。	平成28年1/10(日) 10:00～16:00	山茶花社・山茶花美術館 (京都市中京区車屋町通竹屋町下る 少将井御旅町352)	予約 3,500円 当日 4,000円	要	山茶花社 (075-211-4061)
茶爐夢(さるむ) いちごいちえの会主催 講演会	鷲田清一(京都市立芸術大学学長)講演会	平成28年1/20(水) 14:00～16:00	ちおん舎 (京都市中京区衣棚三条上る突抜町126)	2,000円	要	茶匠(株)井六園 (075-744-1616)
宇治市 「わくわくシルバー 学びの道しるべ」	反平家の「のろし」高倉宮以仁王のお墓が福島や丹波地方に残る謎。	平成28年1/30(土) 13:00～15:30	宇治市生涯学習センター 第2ホール (宇治市琵琶45-14)	無料	不要	京都府南部広域 ふるさと探訪クラブ (0774-43-3747)
伏見稲荷大社 初午大祭 (はつうまたいさい)	稲荷大神が和銅4年2月の初午の日に、ご鎮座されたゆかりの日	平成28年2/6(土) 8:00～	伏見稲荷大社 (京都市伏見区深草藪之内町68)	無料	不要	伏見稲荷大社 (075-641-7331)
圓光寺 坐禅体験	修学旅行、研修会坐禅体験(坐禅指導と法話)	通年 (相談に応じます)	圓光寺 蟠龍禅堂 (京都市左京区一乗寺小谷町13)	大人 1,000円 学生 800円	要	圓光寺 (075-781-8025)
西陣 ぐらしの美術館 富田屋	約130年前の町家で見学、様々な文化体験を楽しんでいただけます。	通年 (年中無休) 9:00～18:00 (入館は17:00まで)	富田屋 (京都市上京区大宮通一条上ル)	2,160円	要	西陣ぐらしの美術館 富田屋 (075-432-6701)

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。

○内容は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

東京はじめ首都圏の皆様へ

京都創生PR事業

東京で、あなただけの「京都」を見つけましょう。そして、「京都の未来」を一緒に考えてください。



in 東京 2016

恋する京都ウィークス



2.13 [土] ▶ 3.13 [日]

東京都内各所で、京都の魅力を体感できる
いろいろな催しを開催!

抽選で京都の
名産品が当たる
スタンプラリーも
実施します



京あるき

検索

【主催】京都市 京都商工会議所 公益財団法人京都市観光協会 京都創生推進フォーラム

京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」

発行日 平成27年12月25日

発行 京都創生推進フォーラム(事務局:(公財)京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121)